

令和7年1月28日

各位

半田市長 久世 孝宏

回答書

小中学校 ICT 支援員配置業務委託プロポーザルの募集に係る質疑に対し、以下のとおり回答します。

【A社】

質問項目	参加資格について
質問内容	参加資格の要件として、愛知県内または半田市内に事業拠点ならびに営業所所在地が必要となりますでしょうか
回答	愛知県内に事業拠点がなくとも参加いただけます。
質問項目	使用機器について
質問内容	校務用・学習用それぞれ使用している機器、OS、アプリケーションの種類とそれぞれの導入台数をお知らせください
回答	校務用機器：dynabook B55/LW (OS：Windows) 導入台数：816 台 学習用機器：iPad (第7世代) 導入台数：10,400 台
質問項目	定例会について
質問内容	定例会とはこういった形式のものを想定しておられますか、ICT支援の就業時間内での開催でよろしいでしょうか、時間はどのくらいを想定しておられますか、主な目的は研修や業務報告でしょうか、定まった日程などはございますか
回答	対面でICT支援員様の就業時間内での開催を想定しております。主な内容は業務報告、及び各種協議調整となります。開催時間は1回あたり2時間を想定しており、定まった日程はなく担当者様と毎月調整することを想定しております。
質問項目	支援員のアカウントについて
質問内容	支援員に貸与頂ける端末・アカウントはございますでしょうか
回答	ご希望があればiPad端末とGoogle・マイクロソフトアカウントを発行致します。

【B社】

質問項目	教育指導計画の作成補助について
質問内容	「教育委員会・各学校での教育指導計画の作成補助」とありますが、具体的にはどのような支援をお考えでしょうか。また、「第2次学校教育HANDAプラン」がベースとなる計画と考えてよろしいでしょうか。
回答	各学校での ICT 機器を用いた教員の教育指導計画(授業計画)作成補助を想定しており(例:ロイロノートを用いた授業計画等)、教育委員会が掲げるような計画作成は想定しておりません。
質問項目	校務事務支援について
質問内容	「ICT を活用した各学校での校務事務支援」について、校務支援システムの環境およびどういった支援を予定されているかを教えてください。また、校務用端末とバージョンを教えてください。
回答	校務支援システムは C4th を利用しておりますが、校務支援システムに対する支援は想定しておらず、校務支援システムの事業者様に支援いただく想定です。 校務事務支援について、実績例を挙げると、保護者との懇談会日程調整ツール作成や学校で掲示する文章のルビ振りツール作成等が挙げられます。学校からの様々な校務事務支援要望に対して対応していただくこととなります。 また、校務用機器については下記のとおりとなります。 校務用機器：dynabook B55/LW (OS：Windows) 導入台数：816 台
質問項目	環境について
質問内容	授業支援システムやアプリ等、環境を教えてください。授業用端末とバージョンを教えてください。 Canva やドローンの授業支援事例を拝見しましたが、今後強化したいアプリや授業内容があれば教えてください。
回答	授業支援システムはロイロノートを使用しており、学習支援アプリ「Qubena」を使用しております。 今後はタイピング能力やプログラミング能力を育むことができるアプリ等を強化していきたいと考えております。 学習用機器につきましては下記のとおりとなります。 学習用機器：iPad (第7世代) 導入台数：10,400 台
質問項目	成果物について
質問内容	(1) 業務内容(ウ) 成果物令和6年度のマニュアル作成実績を教えてください。令和6年度の研修実施回数および研修資料の作成実績を教えてください。
回答	マニュアル作成・研修会の資料作成については、該当の業務が発生した場合に作成いただく想定で、月例で定期的な作成が発生するような想定はしておりません。 令和6年度実績例を挙げますと保護者との懇談会日程調整ツール作成、夏季教員研修でのプログラミング研修会実施などが挙げられます。

質問項目	審査内容の計算基準について
質問内容	(1)(6) 審査及び結果通知 i. 審査価格、費用対効果について計算基準があれば教えてください。
回答	審査価格、費用対効果に関する明確な計算基準は設けておりませんが、プレゼンテーション毎の内容・専門性・付加価値等を踏まえて判断させていただければと考えております。